

平成27年深谷市教育委員会第2回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成27年深谷市教育委員会第2回定例会

日 時 平成27年2月17日(火)
開 会 午後2時25分
閉 会 午後4時25分

場 所 教育委員会 3階 大会議室

出席委員 委 員 長 西 倉 郁 夫
委員長職務代理者 柿 沼 敬 一
委 員 井 上 美佐子
委 員 清 水 巖
教 育 長 小 柳 光 春

出席職員 教 育 部 長 澤 出 晃 越
次 長 植 竹 敏 夫
次 長 片 桐 雅 之
教 育 総 務 課 長 葦 塚 洋 明
教 育 施 設 課 長 吉 田 稔
学 校 教 育 課 長 白 井 裕 一
生 涯 学 習 課 長 岡 田 真
文 化 振 興 課 長 鳥 羽 政 之
図 書 館 長 栗 田 理 一

書 記 教 育 総 務 課 石 川 雅 一
課 長 補 佐

1 開会

委員長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第1回定例会の会議録を全員異議なく承認。

3 会議録署名委員の指名

委員長が西倉委員（1号委員）及び柿沼委員（2号委員）を指名。

4 会議の概要

(1) 会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
- ② 報告2 平成26年度深谷市教育委員会表彰（九箇年皆勤表彰）予定者数について
教育総務課長より説明
- ③ 報告3 平成26年度こころざし深谷国際塾について
学校教育課長より説明
- ④ 報告4 平成26年度第9回深谷市児童生徒コンピュータ作品展について
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 平成26年度第2回深谷市学校教育振興懇談会について
学校教育課長より説明
- ⑥ 報告6 深谷市「英語研究開発」発表会について
学校教育課長より説明
- ⑦ 報告7 深谷市教育委員会だより「こころざし第21号」（平成27年2月発行）について
学校教育課長より説明
- ⑧ 報告8 深谷市教育リーフレットについて
学校教育課長より説明
- ⑨ 報告9 平成27年度小学生学習支援事業「がんばル〜ム」の実施について
生涯学習課長より説明
- ⑩ 報告10 渋沢栄一関連講演会について
文化振興課長より説明
- ⑪ 報告11 平成26年度深谷市歴史講座について
文化振興課長より説明
- ⑫ 報告12 企画展示深谷の出土文字資料について
文化振興課長より説明
- ⑬ 報告13 平成27年1月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
学校教育課長より説明
- ⑭ 報告14 専決処理の報告について【非公開】
教育部長より説明
- ⑮ 議案第2号 深谷市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則
教育総務課長より説明
- ⑯ 議案第3号 深谷市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則

教育総務課長より説明

- ⑰ 議案第4号 県費負担教職員人事の内申について【非公開】
片桐次長より説明
- ⑱ 議案第5号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ⑲ 議案第6号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ⑳ 議案第7号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ㉑ 議案第8号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ㉒ 議案第9号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ㉓ 議案第10号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ㉔ 議案第11号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
教育総務課長より説明
- ㉕ 協議1 平成26年度小・中学校卒業式、幼稚園修了式における教育委員会告辞について
学校教育課長より説明

発言の要旨

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
委員長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

② 報告2 平成26年度深谷市教育委員会表彰(九箇年皆勤表彰)予定者数について
委員長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

③ 報告3 平成26年度ころごし深谷国際塾について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

④ 報告4 平成26年度第9回深谷市児童生徒コンピュータ作品展について
委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

委員長 色々優秀な作品もあると思うんですけど、それを一つの小冊子にまとめたりするような計画はあるのでしょうか。例えば、学校の数だけ作って、各学校で、展示会に来られなかった方が見られるようなこともやってもいいのかな、と思いますが、その辺はいかがでしょうか。

学校教育課長 今回は、その小冊子の作成については、計画はしていませんが、非常にいいアイデアを頂戴いたしました。

また、教育委員会としても、検討したいと思います。ありがとうございます。

⑤ 報告5 平成26年度第2回深谷市学校教育振興懇談会について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

井上委員 協議第1と、協議第2の両方について質問です。

協議第1の「1 深谷市の部活の状況」のところには、「運動部活動の顧問を負担に感じている教員は、65.7%」「部活動の顧問をしている教員は大変だと感じている管理職は95%」とあります。

そのような結果に対して、「2 部活動の意義」では、「非常に見えない教育効果をもたらしている」とか「部活動は必要である」という意見が、沢山出ています。

1のパーセンテージとのギャップ、その辺はどのように捉えているのでしょうか。そのパーセンテージに出ている本音が、2のところでは出ていないような気がするんですよね。部活動は、非常に教育的効果があるから、なくさない方がいいと。しかし、最終的には、外部指導者、社会体育の方に移行する方がよろしいんじゃないか、と。

確かに、色々な障害が起きている場合には、学校全部では背負いきれない部分が、沢山出てきていると思います。また、学習が本来の学校の業務活動ですから、部活の負担を軽減して、本来の授業の方に、色々な力を発揮していく方向性をとった方がいいと思うんですけど、その辺のギャップというか、本音を聞かせていただければありがたいです。

学校教育課長

井上委員さんおっしゃったとおり、部活動というのは、子どもの成長の上で大事な効果を与えられる場でもあります。子どもと顧問にも、土日の活動が多いときなどは、負担感は高めません。

しかし、それを補うくらいの教育的効果がありますし、負担とと思っている顧問も、この部活動を通して教員としての意義とか子どもとの充実した取組だとか、それは十分感じています。ただ、時間的にプライベートの時間だとかが、確保しづらいところ、負担と言わざるを得ないというようなところで、どちらも大事なんですけど、体は一つしかない、というところが本音なんです。

でも、学校としては、そうした意義を、子ども達の成長の段階で、学校の授業だけでなく、教員と関わりあったり、色々な大人と関わりあえる部活動というのは、子ども達には非常に有意義な場でございますので、基本的には教員が顧問をして、外部指導者の技術力というのを活用させていただいて、負担軽減などに努めまして、教育委員会も、人財バンクなどの提供などを含め、協力させていただいて支援していく、そのようなことを考えています。

井上委員

そうした場合ですね、外部指導者として専門的な方を学校に入れていくには、やはり予算の関係があると思うんですね。こちらの方に予算の関係はでていますけど、その辺は、幾分考慮して予算確保していただいているのでしょうか。

それから、社会体育の方に徐々に移行する場合には、施設とか指導者の問題とかありますけれども、そういうのも幾分進めようという動きはあるのでしょうか。

学校教育課長

おっしゃられるとおり、非常に厳しい予算の中でございますが、この外部指導者の予算は、担保させていただいているところでございます。今後も外部指導者の力を活用するということは、基本姿勢として変わりないところでございます。また、それ以上に外部指導者の力というのは、大会の運営ですとか、そうしたところでも審判等でご協力いただいているところでございますし、そうした中で、社会体育の組織や指導者と、子ども達が出会って、社会体育のほうにも参加していく、そのような可能性も考えています。

教 育 長

補足と言いますか、同じことの繰り返しになりますけども基本的に、部活動が、今回学習指導要領で、学校教育の一環として教育課程と関連付けられました。社会教育にふらないで学校に残すということになりました。ですから学校でやっていくというのが今のところ基本となっております。

先ほど課長が申し上げたとおり、子どもの人間的な成長を促す大きなチャンスでもあるので、学校が関わっていくというのが基本という認識で今のところいるべきかと思えます。

また、社会体育にするには、かなりスパンがかかるのではないかと思います。例えば、深谷には、総合型地域スポーツクラブというのが1つありますけど、市全体を賄うまでいきませんので、そうしたことを見据えながら、では当分何をするのかというと、外部指導者です。こちらは予算との絡みで40人以上は採れないです。従って、体育協会と提携しながら、ボランティアで来ていただく人のネットワークを作ろうと、こういった動きになっております。全国的な制度的な問題がありますので、色々な機会を捉えて、それぞれの立場が発信していく必要があると思っております。

井 上 委 員

一番下の「評価・評定については、深谷でも正面からとらえ直さなければならない」というような文言がありますが、その辺はどのような考えをお持ちですか。

学校教育課長

子ども達が中学校に入ってから、小学校での評定・評価の現状からギャップを感じて自信を無くしたりだとか、そうしたことも現実にございます。そうしたところで、教育委員会としましては、小学校の高学年の評定をこれから検討したいと考えているところでございますが、ただ、小学校の発達段階を踏まえて、その辺は慎重に扱いながら、子ども達の現状に合わせた方法を学校と連携を図りながら、検討したいと考えているところでございます。

井上委員 それは分かるのですが、高学年の扱い方で進んでいくときに、中学に行ったときのギャップがすごくある訳ですよね。自分の位置がこうだった。じゃあどうしてもっと早くからその辺の位置を知らせておいてくれなかったのか、というのは、あると思います。やっぱり、子ども達を尊重するのも良いと思いますが、自分の位置というのが分かって、努力するというのも必要かと思います。自分は、この辺の位置じゃ、もっと頑張ってみないと無理かな、とかそういう意識をもって学習に取り組むという姿勢をつけることも大切な時期だと思います。

ですから、その辺をもう少し、学校側と教育委員会で考えていただいて、1、2年生は評価しにくいから、今までどおりでいいと思うんですけど、一番意欲が出てくる4年生あたりから、自分の位置を確認して、学習に取り組んでいこうという意欲をつけさせることが、私は大事だと思います。その辺も検討していただいて、更にいい方向へ進んでいただければ、と思います。

学校教育課長 貴重なご意見ありがとうございます。評価というのは、本当に井上委員さんおっしゃったとおり、褒められて、自分がやる気になるというのが肝になると思います。このやる気を持って、自分の全体の位置を把握して、それを向上心に繋げる、そのようなことを実現するように、これからも取り組んでいきたいと思っています。

⑥ 報告6 深谷市「英語研究開発」発表会について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑦ 報告7 深谷市教育委員会だより「こころざし第21号」(平成27年2月発行)について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑧ 報告8 深谷市教育リーフレットについて

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

- ⑨ 報告 9 平成 27 年度小学生学習支援事業「がんばル〜ム」の実施について
委員長 事務局より説明を求めます。
生涯学習課長 (概要を説明)
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
- ⑩ 報告 10 渋沢栄一関連講演会について
委員長 事務局より説明を求めます。
文化振興課長 (概要を説明)
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
- ⑪ 報告 11 平成 26 年度深谷市歴史講座について
委員長 事務局より説明を求めます。
文化振興課長 (概要を説明)
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
- ⑫ 報告 12 企画展示深谷の出土文字資料について
委員長 事務局より説明を求めます。
文化振興課長 (概要を説明)
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)
- ⑬ 報告 13 平成 27 年 1 月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】
- ⑭ 報告 14 専決処理の報告について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】
- ⑮ 議案第 2 号 深谷市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則
委員長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 議案第2号「深谷市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則」について、深谷市教育委員会事務局の課名及び事務分掌を改めたいので、この案を提出するものであります。

委員 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

委員 長 本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑩ 議案第3号 深谷市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則
委員 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 議案第3号「深谷市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則」について、深谷市立岡部小学校及び岡部西小学校の自校式給食の開始に伴い、当該2校を岡部学校給食センターの給食対象校から外したいので、この案を提出するものであります。

委員 長 本議案について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

委員 長 本議案について、討論はありませんか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑪ 議案第4号 県費負担教職員人事の内申について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑫ 議案第5号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑬ 議案第6号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑳ 議案第7号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

㉑ 議案第8号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

㉒ 議案第9号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

㉓ 議案第10号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

㉔ 議案第11号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

㉕ 協議1 平成26年度小・中学校卒業式、幼稚園修了式における教育委員会告辞について

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員長 本件について、意見はありませんか。

片桐次長 誤字がありましたので、直します。中学校版の裏面の10行目です。「これからも「まごころとと」」のところに「と」が余計に入っていますので、1つ削らせていただきます。

幼稚園の方は、真ん中の段に「いよいよ、四月からは一年生ですね。幼稚園で先生達と行った」というところにルビをふっておきます。「いった」と読んでしまいがちなので。その2点を修正させていただきます。

教育長 部長、「じゅんちゅう」でいいんですよ。

澤出部長 はい、と言いますか、話すとき長くなりますが、結論を申し上げますと「あつただ」でも「じゅんちゅう」でも、間違いではありません。深谷では、「じゅんちゅう」で統一しています。

柿沼委員 昔は「あつただ」でしたよね。

澤出部長 例えば、戸籍的に言いますと「あつただ」です。というのは、身分のある方は、2文字名というのは基本的に訓読みであって、音読みにするのは、お坊さんですとか、絵師だとか、芸術家ですとか、少し特殊な方に限られます。私も「こうえつ」という

名前なので、「お寺ですか」と言われたりするのですが、まだ、DNAが残っているんですね。

ただ、本名を直接呼ばないというのが、昔からありまして、本名は「諱」と言いまして、直接呼ぶと、災いが起きると。例えば、「あさの たくみのかみ」と言っていて、「ながのり」と呼ばないとか、ああいうのもそうなんですけど。というのが一つありまして、あと明治政府の最初の頃に、名前の届出をしているはずなんです。いくつも名前を持っている人が多かったんで、どれか一つにしろと。その際には、おそらく「おだか あつただ」で届け出ているはずなんです。「渋沢栄一」も「えいいち」で届け出しているはずなんです。

その後ですね、本名を直接呼ばないというのがあるのと、あと音読みにするのが有職読み、故実読みとか言いまして、上品な言い方、格調高い呼び方という考え方があったりすることもあるので、例えば、「徳川よしのぶ」も「よしのぶこう」と呼ばれるよりは、「けいきこう」と呼ばれるのを好んでいたという話も残っています。

また、おそらく、晩年の頃の名刺だと思うんですけど、「おだかじんちゅう」と片仮名を振った名刺がでてきたんですね。昔のことですから、片仮名で、今読めば「じんちゅう」になる訳ですけど、それは、おそらく、尾高の本名が「じんちゅう」だというよりも「じゅんちゅう」と呼んでほしいんです、という意味で、振ったものだと考えられますので、地元でも親しみを込めて「じゅんちゅう先生」って呼んでいるということがありますんで、一応「じゅんちゅう」で統一しています。

柿沼委員
澤出部長

藍香さんって普段は、言っていましたよね。

藍香さんは、雅号ですね。渋沢青淵の青淵と同じですね。ですから、もし辞書にでるなら、「おだかあつただ」通称「じゅんちゅう」になるのか、「おだかじゅんちゅう」本名「あつただ」になるのか。例えば、「平賀源内」なんかも「げんない」は本名ではなくて、本名「くにとも」と言うんですけども、通称で呼んでいます。まあ、どちらで読んでも間違いではないということです。長々とすいません。

柿沼委員
澤出部長

3名の方の「翁」と「氏」の違いなんですか。

これは、「翁」という場合は、尊敬の意味が強いです。ですから、やはり、こう申し上げたらなんですけど、渋沢栄一翁はもちろんですけども、尾高惇忠翁にしても、政府関係、その他で非常に功績が大きかった。その点、葦塚直次郎さんの場合には、政府関係での功績というよりは、一般、民間人として功績があったという方なので、「翁」と呼ぶのも、ちょっと憚れるかなという感じはあります。

井上委員 中学校と小学校、ほとんど同じなんですよね。小学校の6年生が座っていて、教育委員会としてのお祝いの言葉を投げかけるときに、インパクトのある入り方をしたほうが良い気がします。中学校と全く同じような並びになっているので、ちょっと入りにくい気がします。

一つ目の「夢とこころざしをもち続けてほしい」では、そこをどういう風に。二つ目「まごころと思いやり」を持って行動できる人であってほしい」じゃあ、どんな風に。もう少しインパクトのある書き方で、省略した方向がないのかなと思います。要は、夢とこころざしを持ち続けて欲しいという中で、この人達を出していくわけですよ。そこのところをもうちょっと絞ったもので、できないかなと思います。中学校は、このまわって大丈夫だと思うんですけど。

例えば、「夢とこころざしをもち続けてほしい」ので、渋沢栄一を出したいわけですよ。そういう風に言ってしまうのもいいのではないのでしょうか。そういう風に少し整理していくと6年生の段階では入りやすい気がするんですけども。どうなんでしょうか。

なかには両方聞く保護者もいらっしゃると思いますので、中学校でも小学校でも同じようなパターンというのはどうでしょうか。小学校だとしたら、こんな言い方で省略しながらインパクトを与えて渋沢栄一翁について説いたほうが良い気がします。このまわでも結構ですけど。

学校教育課長 よく分かります。特に、小学校の発達段階ですと、多少、群馬県の富岡製糸場と絹産業遺産群が世界文化遺産に登録された、というところですけど、長くなってしまったところは否めないと思いますが、やはり、この6年生の年に世界遺産登録がなされた、というのは、子ども達の記憶に残したい、という思いがございます。子ども達も、先程の報告で申し上げましたように、コンピュータアートのほうでもコンピュータで色々な似顔絵を描いたり、渋沢栄一翁、尾高惇忠翁、蕤塚直次郎氏を題材とした「三偉人は偉い新聞」を作ったりして、学んでいただいたというところがあります。先生のおっしゃるとおり、難しい部分だと思うんですけど、記憶に留めたい、という風に存じます。

教 育 長 どういう風に構成するかということですよ。一つ目の中に三人入れたので、前に出せるかどうかですよ。

井上委員 富岡製糸場が世界文化遺産になったというのは、必要だと思います。これは、省かなくていいと思いますが、その流れを少し削ると入りやすくなるような気がします。

片桐次長 ご意見いただきましたので、改めて学校教育課の方で、構成等を考えて、例えば、「はなむけの言葉を贈ります。」の後

とすぐに一つ目に入らないで、三偉人のこういうことがあって、みなさんの卒業の年と重なりました。それに伴って、一つ目は「渋沢栄一翁の夢とこころざし」ですとか、そういう感じで前に三人を出してから一、二、三っていくような構成を考えて、また、先ほどおっしゃったように小学校と中学校で少し差がでるようにして、小学校の六年生らしい告辞、中学校の三年生らしい告辞の言葉と構成にして、皆さん方に蛇腹版にして届けたいと思います。この後は、こちらの方にお任せいただいてよろしいでしょうか。

委員長 それは、修正していただければと思います。そのほかに何かございますでしょうか。

清水委員 最後の終わった後、深谷市教育委員会だけでいいですか。出席委員の名前言うとか、そういうことは一切いらないんですね。

学校教育課長 はい。

委員長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第3回定例会は、3月10日（火）午後1時30分開会です。

以上で、平成27年深谷市教育委員会第2回定例会を閉会します。